

令和4年1月24日

教育委員会事務局各所属長 様

教育政策課長

### 職場要求交渉の概要について

令和4年1月7日（金）に、高知県職員労働組合と2022年度職場要求について教育長交渉を行いましたので、その概要を以下のとおりお知らせします。

#### 第1 交渉における主な回答等

##### <全体>

- 1 時間外勤務の上限規制の趣旨を踏まえ、教育委員会事務局における時間外勤務縮減に向けた実効ある措置を講じること。

##### 【回答】

- ・ 時間外勤務時間数は、昨年度はコロナの影響もあり変則的な年だったが、その昨年度比で11月末時点で約3%の減。一昨年度との比較では13%程度の減となり、時間外勤務縮減の方向にある。
- ・ 他律的部署については、業務を精査したうえで指定をし、指定すれば720時間まで可能ということではなく、全体として全ての職員で時間外縮勤務減に向けた取組を進めるという姿勢で取り組んでいる。

- 2 年次有給休暇の取得促進に向けて、職場環境整備をはかること。

##### 【回答】

- ・ 年次有給休暇の取得状況は、令和2年が平均9.6日。平成30年が7.8日で令和元年が8.2日であり、少しずつ取得日数が増えている状況である。
- ・ 年次有給休暇の5日未満取得者は令和2年で23.8%、41人。5日取得は最低限としててこ入れを進めたい。

##### <個別>

##### 県立図書館

- 人員増を図ること。
- 会計年度任用職員の継続雇用をはかること。

##### 【回答】

- ・ 窓口対応においてヘルプ業務が多いといったような業務の波は出てくると思うので柔軟に対応いただきたい。県市の管理職同士で円滑に協議をし、調整してもらおうよう私からも管理職に話をしておく。急なローテーションの変更などは一定のご理解とご協力をいただきたい。

- ・ 障害者雇用の会計年度任用職員について、各部署に配置された方々をこれから減らしていこうとの考えは持っていない。障害者雇用も含めて、必要な予算についてはしっかりと要求させていただいている。

### 土佐海援丸

- 正規職員 18 人体制を確保すること。
- 船員の処遇改善をはかること。
  - ・ 船員の調整額について調整数の引上げ。
  - ・ 任用 3 等級昇任基準の改善（指揮命令系統と任用等級の矛盾の解消）。
- 実習航海前には PCR 検査を無料で受けさせること。

#### 【回答】

- ・ 機関長欠員による調整数の対応は、過去の事例を確認のうえ対応を検討する。
- ・ 臨時的任用職員の職務給については、どういったことができるか確認のうえ検討したい。
- ・ 年度内に採用試験を行い、来年度も 18 人体制が確保できるように取り組んでいく。
- ・ 船員の調整数の引上げについては、新たな業務の追加、困難性の増加といったことがなければ引上げは困難。
- ・ 二等機関士、二等航海士の三等級への格付けについては、よほど新しい理由がない限り困難。
- ・ PCR 検査については、実習に送り出す県教委や学校の責任として、公費で実施すべきと判断した。今の状況が続くのであれば、今後も同様の対応が必要と考えており、必要な予算があれば確保に努める。

以上